



2023年3月期 第2四半期 決算補足資料

株式会社 キョウデン

証券コード6881

2022年11月9日

2023年3月期 第2四半期 決算概要 (連結)

【金額単位：百万円】

売上高：電子事業 国内／海外基板及びEMS事業において需要拡大
フル稼働による生産により増収

工業材料 グラスファイバー原料及び窯業原料が堅調により増収

営業利益/EBITDA：電子事業は引き続き堅調ながら、設備投資の償却費増により減益
工業材料事業は売上増により増益

経常利益：為替差益56百万円あったものの、営業利益減により減益

	2022年3月期 1-2Q	2023年3月期 1-2Q	増減額	増減率
売上高	27,309	32,318	5,009	18.3%
営業利益	2,616	2,264	▲351	▲13.4%
EBITDA (償却前営業損益)	3,573	3,665	92	2.6%
経常利益	2,634	2,329	▲304	▲11.6%
親会社株主に 帰属する当期純利益	1,796	1,593	▲203	▲11.3%

セグメント別 売上高・営業利益

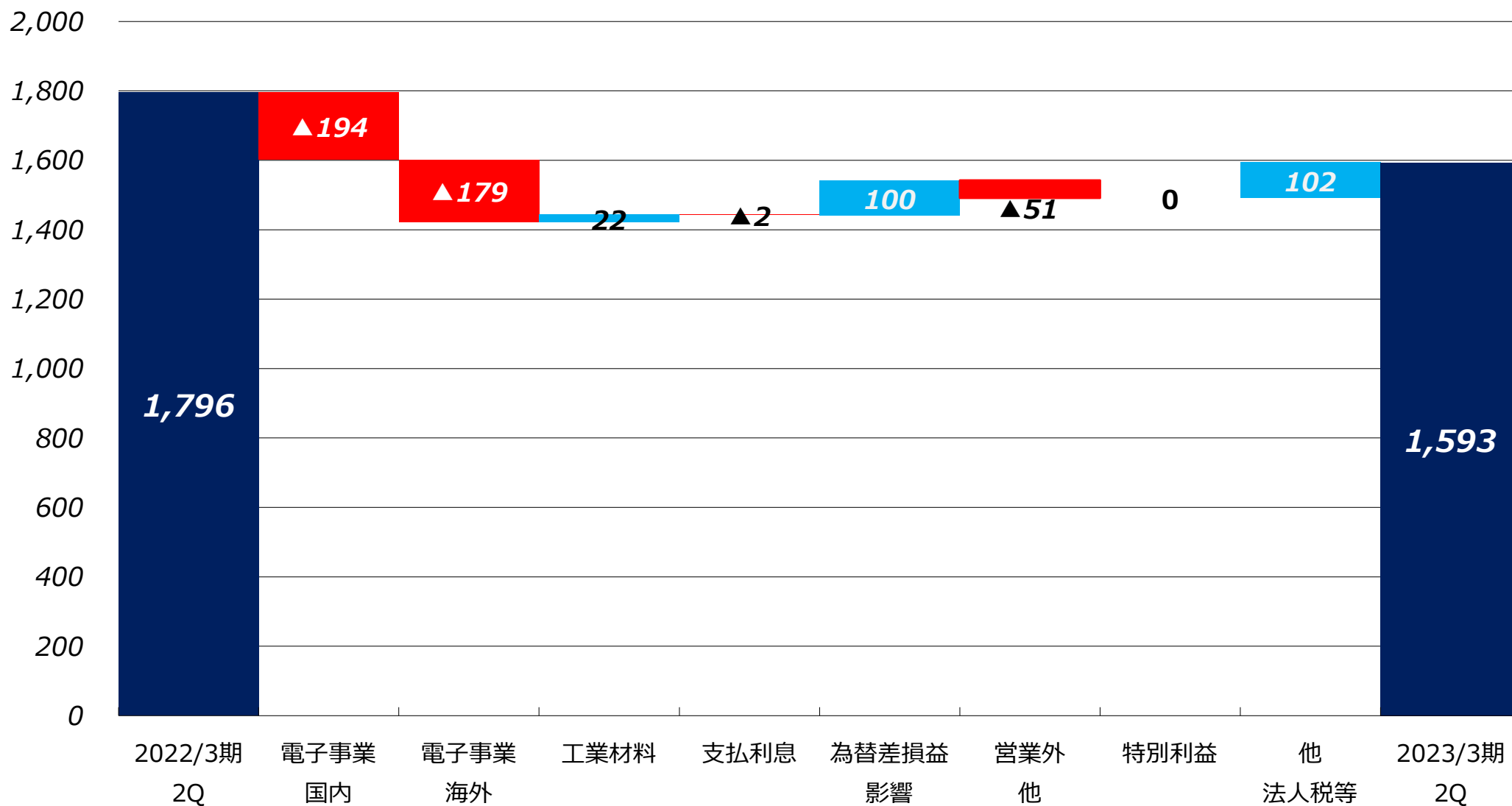
【金額単位：百万円】

【売上高】	2022年3月期 1-2Q	2023年3月期 1-2Q	増減額	増減率
電子事業	21,634	25,499	3,865	17.9%
工業材料事業	5,675	6,818	1,143	20.2%
合 計	27,309	32,318	5,009	18.3%
【営業利益】	2022年3月期 1-2Q	2023年3月期 1-2Q	増減額	増減率
電子事業	2,147	1,773	▲373	▲17.4%
工業材料事業	469	491	22	4.8%
合 計	2,616	2,264	▲351	▲13.4%

連結当期純利益 前期比増減要因

【金額単位：百万円】

電子事業において3.7億円の営業減益
親会社株主に帰属する当期純利益は2億円の減益



アイデア

カタチ

可能性を製品に

Total Solution Provider

KYDDEN
GROUP



電子事業概要

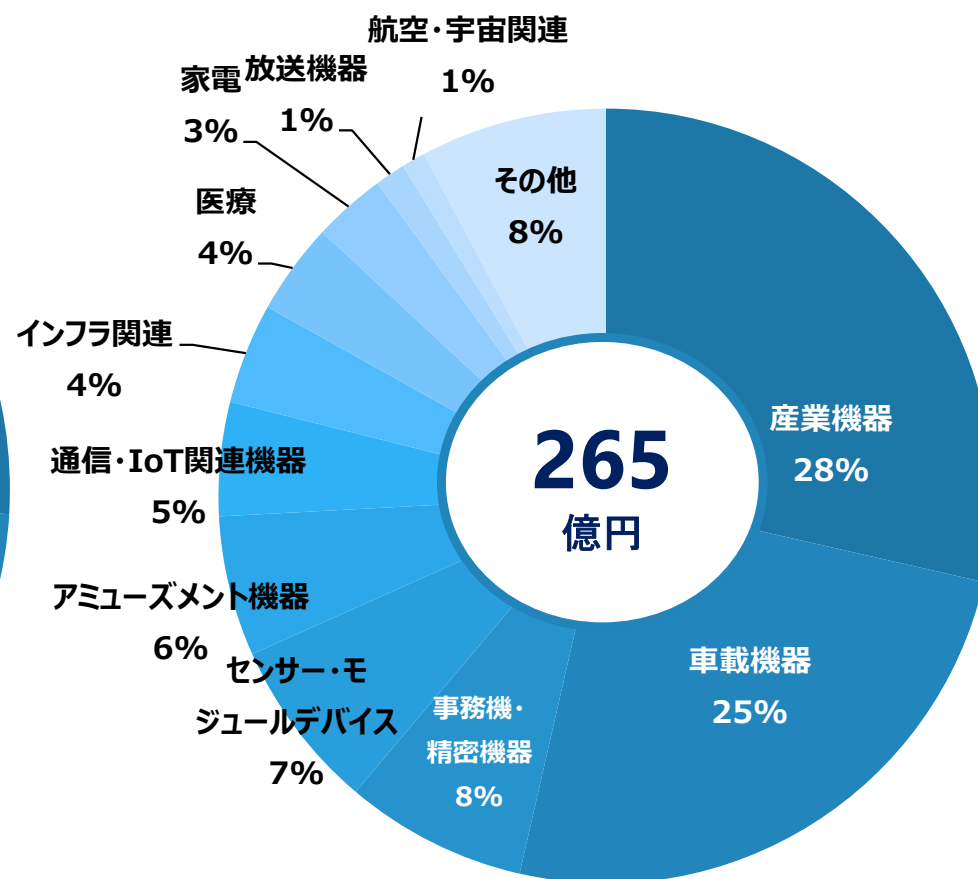
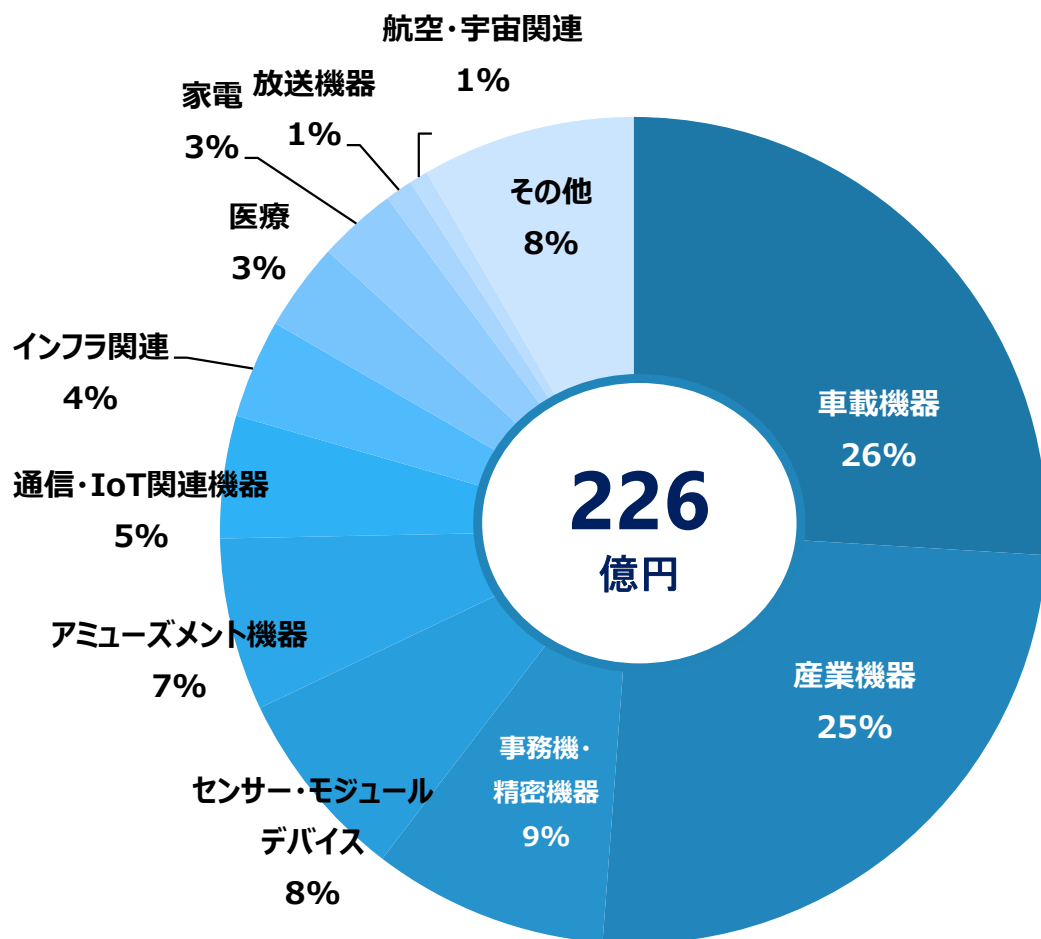
2023年3月期 第2四半期

電子事業アプリケーション別売上構成：1

■ 202203 1-2Q

■ 202303 1-2Q

※売上金額：連結相殺前



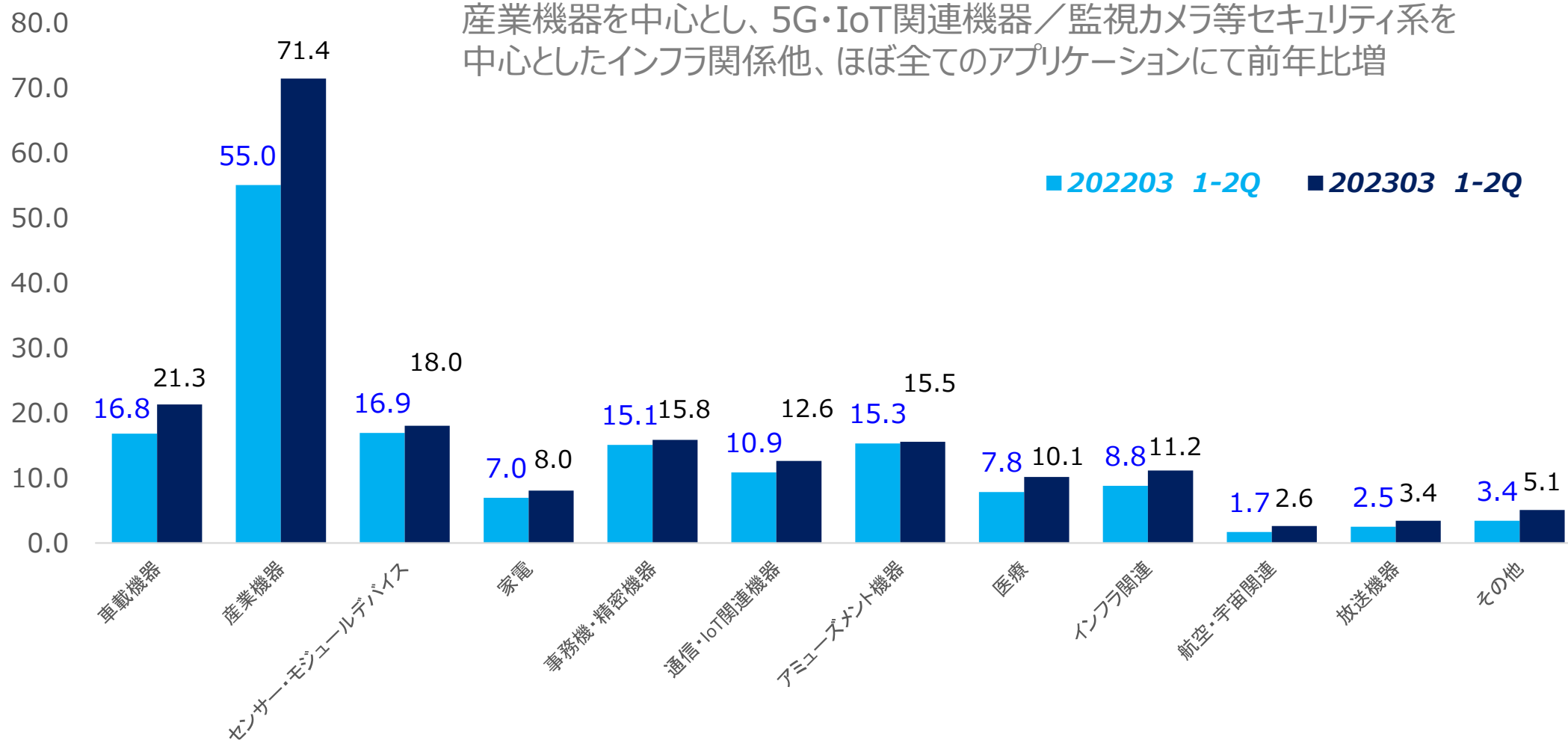
電子事業アプリケーション別売上構成：2 国内電子

※売上金額：連結相殺前

設計／基板／実装

【金額単位：億円】

半導体製造装置・産業用ロボット・EV車向け関連製造装置を含む産業機器を中心とし、5G・IoT関連機器／監視カメラ等セキュリティ系を中心としたインフラ関係他、ほぼ全てのアプリケーションにて前年比増



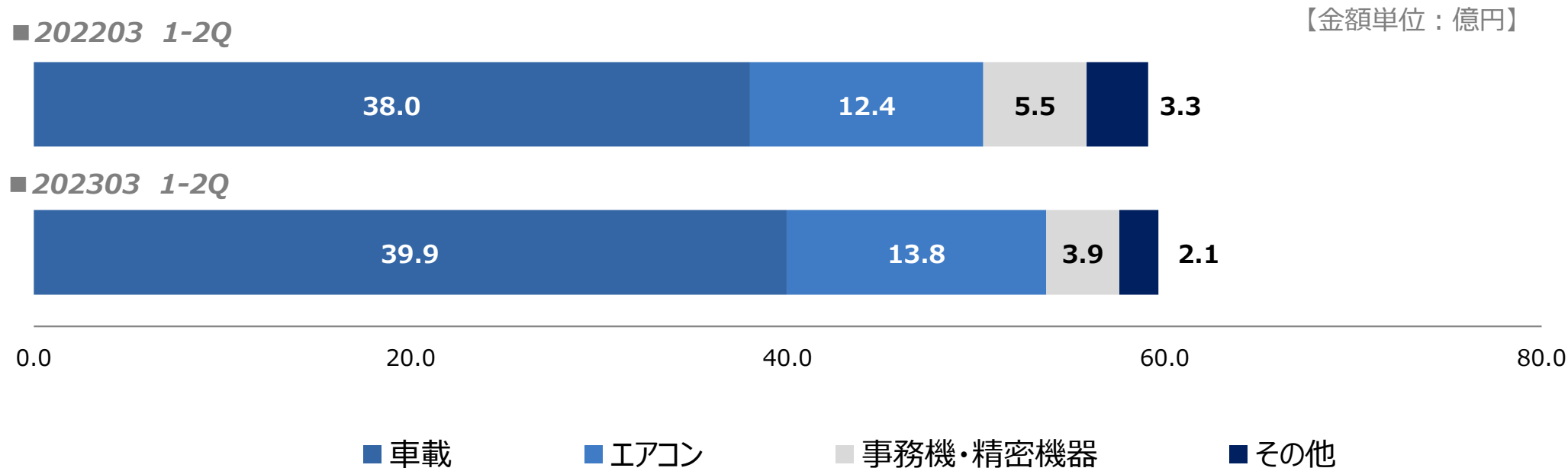
電子事業アプリケーション別売上構成：3 海外電子

※売上金額：連結相殺前

海外電子

<KYODEN THAILAND>

車載マーケットの一定回復したものの、サプライチェーンの在庫調整もあり横ばい傾向
EV化／コネクテッド化に伴い、調整後は需要拡大が見込まれており、生産体制の拡大
が急務として新工場設備計画は進行中

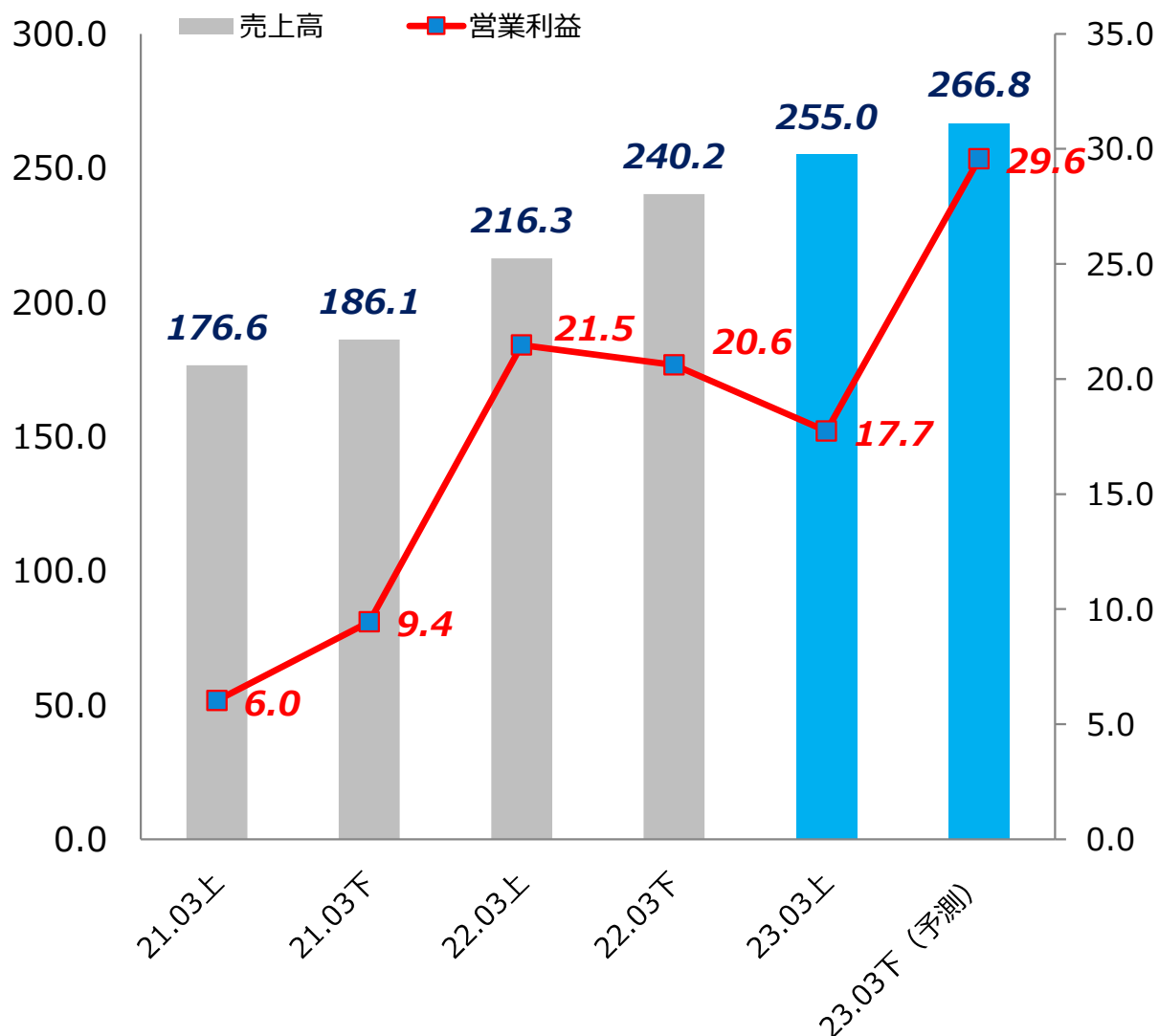


電子事業 売上高／営業利益推移

【金額単位：億円】

(売上高)

(営業利益)



2023.3 主な取り組み

営業

- ・半導体起因による長納期発注対応
- ・試作開発品／転注品の積極的な取り込み

製造

- ・投資設備の納期管理
(半導体不足起因による)
- ・作業板サイズ大判化／統一化
- ・新技術製品歩留まり向上

技術開発

- ・高速厚銅めっき製品化
- ・6G対応基板技術要件検証

購買

- ・先行手配による材料確保
- ・営業と共同した代替材料マルチ認定推進

EMS

- ・狩野川EMS工場 本格稼働
- ・メンテナンス事業立ち上げ

電子事業 2023.3期 通期の主な取り組み

✓ 中期経営計画 <設備投資>

投資総額 137億円
償却 40億円 EBITDA 87億円

✓ 体制強化 <営業力／開発力／即時製造体制>

増員計画
営業 +25名 設計／*Sim* +10名 *CAM* +10名

✓ EMS

狩野川EMS 第1期増設工場 11月稼働開始
ロボットセンター立上げ

✓ タイ

2022年10月 第4工場建設準備開始
※2023年12月稼働を計画

アイデア

カタチ

可能性を製品に

Total Solution Provider

KYDDEN
GROUP



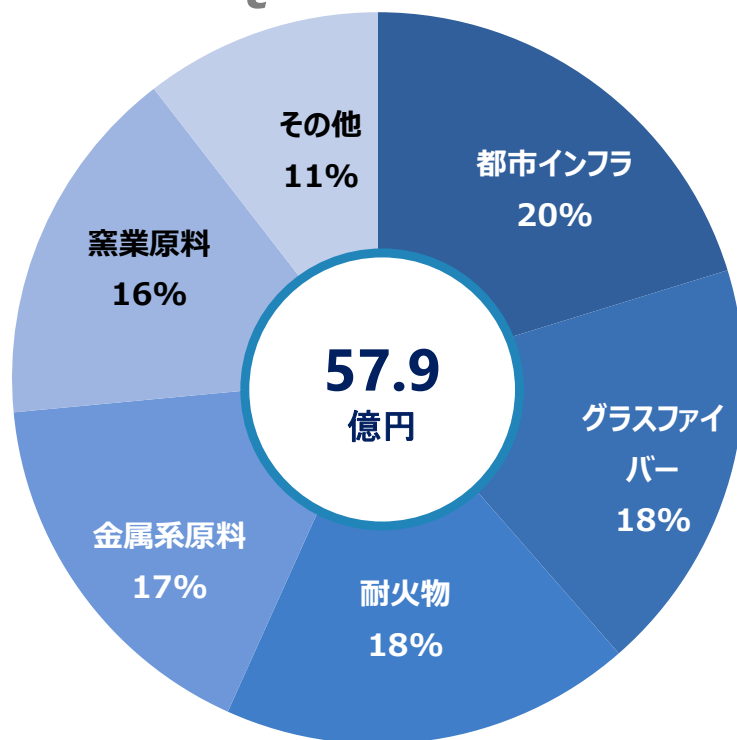
工業事業概要

2023年3月期 第2四半期

工業材料事業アプリケーション別売上構成

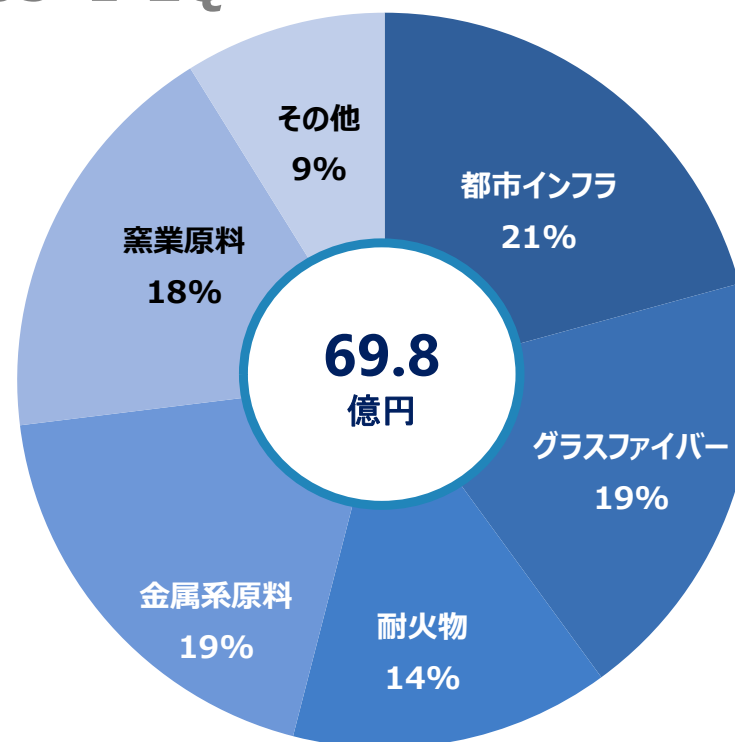
都市インフラ/ガラスファイバー原料/窯業原料/金属系原料は全てにおいて増収
耐火物は微減収

■ 202203 1-2Q



■ 202303 1-2Q

※売上金額：連結相殺前



■ 202203 1-2Q



【金額単位：億円】

■ 202303 1-2Q

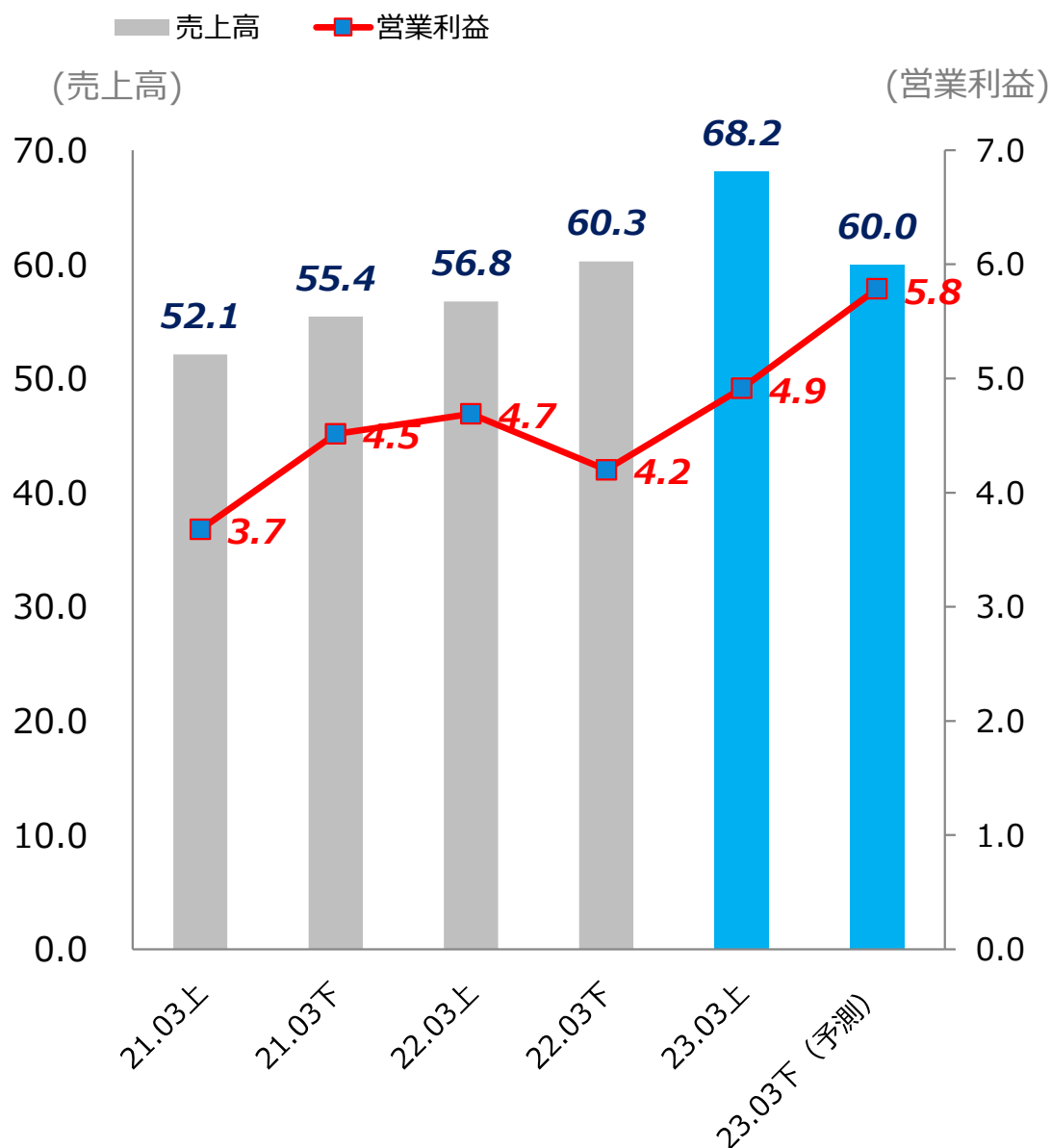


0.0 20.0 40.0 60.0 80.0

■ 都市インフラ ■ ガラスファイバー原料 ■ 耐火物 ■ 金属系燃料 ■ 窯業原料 ■ その他

工業材料事業 売上高／営業利益推移

【金額単位：億円】



2023.3 主な取り組み

- 各分野とも市況が回復してきたことを受け、既存・新規とも積極的な営業活動を展開
- 新商品拡販に伴う設備投資を実施
GF原料 混合ライン新設
- 輸入原材料や物流費上昇に対応したコストダウン及び価格改定
- 堅調且つ収益性の高い案件への経営資源の集中
- 地政学的リスクや世界的な空コンテナの偏在による物流遅延のリスク対策として輸入原材料の前倒し確保
- 輸入原材料や燃料費上昇に対応したコスト管理強化による収益確保

連結キャッシュフロー 設備投資、減価償却費、研究開発費



【金額単位：百万円】

	2022年3月期 1-2Q	2023年3月期 1-2Q	増減額
営業C F	1,567	▲515	▲2,083
投資C F	▲785	▲4,349	▲3,563
財務C F	▲2,641	5,159	7,800
現金及び 現金同等物の残高	6,903	7,140	236
	2022年3月期 1-2Q	2023年3月期 1-2Q	2023年度3月 通期(予想)
設備投資	851	5,175	14,000
減価償却費	956	1,401	4,200
研究開発費	175	182	400

連結貸借対照表

【金額単位：百万円】

2023年3月期 2Q

資産合計 62,721

流動資産	流動負債
40,990	28,594
<ul style="list-style-type: none"> ・売上債権：19,552 ・棚卸資産：13,700 ・その他：7,737 	固定負債
	8,760
固定資産	純資産
21,731	25,367

主な増減要因

- ・ 流動資産（+52億円）
 - 売上債権（+13億円）売上増加
 - 棚卸資産（+33億円）受注増加／在庫確保
- ・ 固定資産（+40億円）
 - 中期経営計画における設備増強
- ・ 流動負債（+59億円）
 - 買入債務（+5億円）仕入増加
 - 短期有利子負債（+41億円）設備投資資金借入
- ・ 固定負債（+19億円）
 - 長期有利子負債（+18億円）設備投資資金借入
- 有利子負債合計 182億円（+60億円）
 有利子負債依存度 29.1%
- ・ 純資産（+13億円）
 - 株主資本（+7億円）当期利益+15億、配当▲8億
 - 為替換算調整勘定（+6億円）
 - 自己資本比率 40.3%

アイデア

カタチ

可能性を製品に

Total Solution Provider

KYDDEN
GROUP



業績予想

2023年3月期

2023年3月期 業績予想 (連結)

【金額単位：百万円】

	2022年3月期 実績	2023年3月期 予想	対前年比 増減額
売上高	57,358	65,000	7,642
電子事業	45,656	52,180	6,524
工業材料事業	11,701	12,820	1,119
営業利益	5,096	5,800	704
電子事業	4,207	4,730	523
工業材料事業	889	1,070	181
EBITDA(償却前営業損益)	7,259	10,000	2,741
経常利益	5,109	5,700	591
親会社株主に帰属 する当期純利益	3,744	4,100	356
年間配当金(円/株)	¥17	¥20	¥3
1株当たり当期純利益	75.37	82.52	7.15

- 本資料には、将来の業績に関する記述が含まれております。
こうした記述は、将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。
将来の業績は、経営環境の変化などにより、目標対比で異なる可能性があることにご留意ください。

- ご利用に関しては、ご自身の判断にてお願い致します。
本資料に基づいて被ったいかなる損害についても、当社は一切責任を負いませんので
ご承知おきください。

本資料に関するご照会先
株式会社 キョウデン 経営推進本部
TEL : 0265-79-0012